

健児の歌

作詞 本村 信時
作曲 傅 潔 吉

一 はろばろと 目路めじの限りを

武蔵野に 陽ひは直射たださして

千歳なる 学びの庭に

丈夫ますらおの のぞみあかるし

二 朝夕に 仰げばたふと

神さびて 白き富士の嶺ね

これやこれ われらが姿

学び舎やの 永久とわの象徴しるしぞ

三 赤く清き 誠まことひとすじ

友垣を かたく結びて

身を心 きたえ修めむ

大君の しこの御楯みたてと



*昭和十九年につくられた東京都立千歳中学校校歌「健児の歌」です。
初代本村傅吉校長の作詞によるもので、教育の理想像が歌い込まれています。
作曲は、あの有名な信時潔先生です。

千歳高校校歌

作詞 吉田一穂
作曲 中田喜直

鐘草の野に礎うちて

追ふは真理を 狩りの喊

誠之の誓い眉あげて

指す白雪の富士が嶺よ

わがゆく路に花散らし

思索の虹のかかるとき

渴ける胸に湧くありて

わが林泉は碧なり

額は高く陽に誇り

未来へ駆ける炬火を

落花を肩にわれゆかむ

千歳の春秋夢多し



*昭和三十六年につくられた都立千歳高校の校歌です。

この校歌は、創立二十周年記念事業のひとつとして作詞・吉田一穂先生、作曲・中田喜直先生により作られました。

学園思慕の歌

作詞 本村 弘
作曲 井村 傳吉

一 麦の緑の眼にしみて

雲雀ヶ丘の揚雲雀

春魁はるがけて告げ啼なくを

希望の窓に聞きしかな

二

風颯々ふうささの秋たけて

雲悠々と流るるを

千歳の社もりの学び舎やゆ

想おもい遥はるけく眺めけり

三

粕谷かすやの里の蝉しぐれ

草は炎もと燃ゆるがに

流るる汗は玉散るも

磨ちとせき磨せだまきし千歳魂

四

星かげ氷る烏山

祖師ヶ谷道みちの荒吹雪

甲武信風こぶしおろしは骨刺すも

血潮せいしこんにたぎる誠之魂



*千歳中学校の校歌と同時に発表された学園歌で、千歳周辺の風情と学園生活の夢を歌い上げた爽快な曲です。